

西諸地域で分娩を再開 安心して妊娠・出産できる環境を

私たちが住んでいるこの西諸地域で、妊娠・出産し子育てできることはどのような意味を持つのでしょうか。今月号では、西諸2市1町の広報紙合同特集として「西諸での出産・子育て」を考えます。

**妊婦に寄り添いながら
妊娠・出産をサポート**
小林市立病院では、妊婦や家族に寄り添いながら妊娠・出産をサポートしています。来院した妊婦には、

**1月から分娩再開
産声が西諸に広がる**
平成31年1月、小林市立病院で分娩が再開されました。分娩再開後に誕生した上井亜綺ちゃんの母さつきさんは、「二人の子どもを都城の病院で出産し、今回、三人目を小林市立病院で出産しました。以前までは病院が遠く移動が大変でしたが、小林市立病院でも相談や健診、出産ができ安心して赤ちゃんを産むことができました」と話します。
全国的に産婦人科医が減少するなか、西諸地域で分娩が再開されたことは、安心して妊娠・出産、そして子育てできる環境づくりにとって大きな一歩となりました。

これからは生まれてくる子どもたちに、西諸地域を「ふるさと」と思ってもらえるように。西諸地域に住む私たちが、楽しく安心して子育てができる環境を守っていきましょう。

出産に対する心構えや西諸地域の診療体制などについても丁寧に説明。また、西諸地域外での出産を予定している人にも、えびの市の産婦人科医なども連携して妊婦健診を行い、妊婦や家族の負担を軽減する体制を整えています。
**妊娠・出産・子育て
この環境を守り育てる**
市立病院の吉永浩介医師は、「親が子どもを育てたいと思った場所は、生まれてくる子どもにとってのふるさとになる」と話します。
西諸地域で安心して妊娠・出産し、たくさんの温かい人たちに見守られながら子育てできる環境があることは、何物にも代えがたいものです。

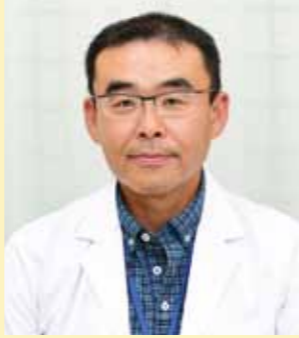
西諸地域で分娩ができなくなってきた経緯から、西諸地域外で出産する人が多いのは自然の流れだと思います。小林市立病院

**西諸地域外の出産者でも妊婦健診受けられます
子どもたちのためにも地域の盛り上げが必要**
西諸の周産期医療のために、多くのご理解とご協力があり1月下旬から小林市立病院での分娩を再開できました。数例の出産に立ち会いました。母子ともに健康で正直ほっとしています。
分娩が再開されましたが、高リスクと思われる分は高次施設の宮崎大学病院や都城医療センターと連携を図り対応している状況です。

西諸地域で分娩ができなくなってきた経緯から、西諸地域外で出産する人が多いのは自然の流れだと思います。小林市立病院

では、市外で出産する人の妊婦健診や体調急変による受診という「ワンクッションの診療」ができます。こういった意味でも、小林市立病院の産婦人科が再開できたことは西諸地域で重要な意味を持ちます。少しでも妊娠や出産に不安がある人は相談ください。
今の状況をより良くするために、地域住民の協力も必要です。西諸地域は穏やかでとてもいい土地柄。このすばらしい地域に住む私たちみんな、地域を盛り上げていきましょう。

Doctor - 医師 -
先生に話を聞きました



小林市立病院 産婦人科
よしなが こうすけ
吉永 浩介 医師

西諸合同特集
西諸地域で
分娩再開

こんにちは、
赤ちゃん。



新しい生命の誕生

1月30日、小林市立病院で元気な産声をあげて赤ちゃんが誕生しました。上井亜綺ちゃん、2658g。「生まれてきてくれて本当にありがとう」。亜綺ちゃんを見つめる両親から、そんな想いが伝わります。



子育てサポート

市では、妊娠期から子どもの成長に合わせて、子育てをサポートするさまざまな取り組みを行っています。その一部を紹介します。

妊娠がわかったら

母子健康手帳を交付

毎週月曜日に、健康推進課で交付しています。妊婦健康診査や乳幼児一般健康診査、新生児聴覚検査などの助成券も一緒に渡します。また、妊娠中の生活や出産のこと、生まれてくる子どもの相談にも応じます。



毎週月曜日が
交付日です！

★母子健康手帳交付

赤ちゃんが生まれたら

赤ちゃん訪問

赤ちゃん健康診査受診前のすべての乳児と保護者を対象に、保健師などが訪問します。なんでも相談ください！



困っていること
ありませんか？

★赤ちゃん訪問

乳幼児健康診査

赤ちゃん健診や1歳6か月児健診など、子どもの成長に合わせた健診を行っています。身長や体重の測定、育児の悩みなども相談できます。



★1st バースデイ健康相談

少しの間だけ
子どもを預けたい

ファミリー・サポート・センター

子どもを預けたい人（おねがい会員）と預かることができる人（まかせて会員）を登録して、ファミリー・サポート・センターが会員間での紹介をサポートする、地域で子育てを助け合う仕組みです。利用するには、事前に会員登録が必要です。



ファミサポの
情報は
こちらから！

★1歳6か月児健診

お役立ち情報満載！

子育て応援 BOOK

子育てに関する情報や各種制度などをまとめた「子育て応援 BOOK」。子育て支援課、保健センター、TENAMU 交流スペースで配布しています。



無料で配布
しています！

★3歳児健診

3歳～

1～2歳

新生児～12か月

妊娠期

仕事に復帰！

保育所・認定こども園・幼稚園

仕事などで、家庭で保育できない保護者に代わって子どもを預かります。市内には認可保育所、認定こども園、幼稚園などが28施設あります。利用定員や預かり時間、入所・入園方法など詳しくは各園に問合せください。

一覧は
こちらから



0歳から始める

ブックスタート

平成17年から取組んでいるブックスタート。市立図書館では、3か月児健診の際にお気に入りの絵本2冊をプレゼントしています。読んであげる絵本によって、赤ちゃんが笑顔になるなど反応はさまざま。市立図書館にも、赤ちゃんと一緒に楽しめる絵本がたくさんあります。お気に入りの一冊を探してみてもいいかもしれません。



お気に入りの本を
2冊プレゼント！

★ブックスタート

★もぐもぐクッキング

★パパママ教室

★妊娠中の電話相談

★歯っぴー教室

歯の健康

歯っぴー教室、フッ化物塗布

小林市は全国・県内と比較して、むし歯を持っている子どもが多い状況です。そのため市では、歯科医師と管理栄養士がむし歯予防について説明する「歯っぴー教室」を開催しています。また、2歳の誕生日を前に歯医者さんでフッ化物塗布を無料でできる券（3回分）も送付します。むし歯予防に効果的なので、ぜひ活用ください。

赤ちゃんを
むし歯から
守ろう！



離乳食の講習

もぐもぐクッキング

離乳食についての不安はありませんか？もぐもぐクッキングでは、管理栄養士の講話と簡単な調理体験を行います。離乳食は、今後の食生活につながる最初の大切な食事です。子どもの成長に合わせた食について学んでみませんか。少量ですが試食もできますよ！



試食も
できますよ！

Q₇

子どもと一緒にスマートフォンで動画を観たりします。子どもに悪影響がありますか？

A 手元で簡単に情報を得られるスマートフォン。専門家でもさまざまな議論がされていますが、総じて言えることは「スマートフォンばかり子守りをさせない」ことです。スマートフォンやタブレットは生活するうえでとても便利な道具。しかし、活用方法を誤ると視力の低下や睡眠障害、ネット依存など子どもたちに悪影響を及ぼす場合があります。そのため、使用する場合は時間や内容、使用方法などのルールを家族で作ってみて



はいかがでしょうか。子どものうちは、五感を使った遊びを積極的に取り入れて、さまざまな経験ができるといいですね。

Q₅

子どもが、病院に通院するときの助成制度があると経済的にも助かるんですが…。

A 市では、出生後から中学生までを対象に医療費の一部を助成しています。助成を受けるには子育て支援課で交付される受給資格者証が必要です。なお、調剤薬局は無料になります。

対象者	助成内容
0歳児～未就学児	ひと月の診療報酬明細毎に自己負担額 350円
小学生 中学生	ひと月の診療報酬明細毎に自己負担額 800円

Q₂

赤ちゃんが、母乳をどのくらいの量を飲んでいるのか心配です。何かいい方法がありますか？

A 母乳は飲んでる量が分かりにくいですが、赤ちゃんの体重が順調に増えていれば問題ありません。保健センターには赤ちゃん用の体重計を設置していますので利用ください。また、月1回の育児相談会「キッズフロア」も利用ください。



Q₁

先日子どもを出産しましたが、悩みが尽きません。どこか相談できる場所はありますか？

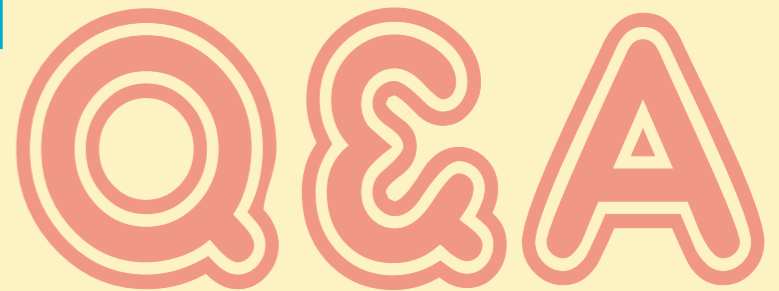
A 出産後は、慣れないことばかりで悩みが尽きないですね。そんなときは、健康推進課 (TEL 23-0323) へ連絡ください。専門の知識や経験がある保健師や助産師などが直接自宅へ訪問して相談に応じます。



TOPICS ズバリお答え！

出産・子育て

市民からの相談が多かった子育てに関するお悩みに、市の担当者などがズバリお答えします。



Q₆

小学生の子どもがいるのですが、仕事があり帰りが遅いんです。放課後に預けられる場所はありますか？

A 放課後児童クラブがあります。小学校の余裕教室や保育所などで、放課後に帰宅しても、仕事で保護者がいない小学生の居場所を提供しています。詳しくは市ホームページで確認ください (右 QR コード)。



Q₄

うちの子、他の子と比べて落ち着きがないようで不安です。どのように対応すればいいのでしょうか？

A 子どもの成長は個人差がありますが、少しでも不安に思うことがあれば、まず相談することが重要です。市では、言語聴覚士による「ことばの相談」、心理士による「のびのび子育て相談」などを行っています。相談したい人は健康推進課に電話ください。



Q₃

夜間など近くの病院が開いていないとき、子どもの体調が悪くなったらいどうしたらいいですか？

A 夜間や休日などの場合は、宮崎県小児救急医療電話相談 (# 8000) があります。子どもの様子を伝え、対応方法を聞くことができます。市役所などで配布している「子ども救急ガイド」を活用して、子どもの体調が気になるときは、早めにかかりつけ医を受診するようにしましょう。



妊娠・出産・子育てを応援します！



サポート体制充実
まずは気軽に相談を

最後に…



健康推進課 一色 俊一郎 課長

子どもの誕生は、親や社会にとって大きな喜びです。しかし、核家族化や価値観の多様化などで家族や地域を取り巻く環境は大きく変化しています。そのため市では、妊娠・出産・子育てを考えている人の経済的、精神的なサポート体制の充実を図っています。母子健康手帳交付時に妊婦健康診査などの無料助成券の交付、専門の職員による相談も実施しています。気軽に相談してください。

● 問
健康推進課

TEL 23・0323